


クラス	C105	担当教員	橋口 徹
	テーマ	医療マネジメントと会計・税務管理	
	著書・論文 研究課題 等	<p>【主な著書】『会計学説と会計数値の意味』（共著）森山書店、1998年、『会計情報の変革』（共著）中央経済社、1999年、『福祉NPOの挑戦ーコミュニティ・ケアの経営管理ー』（共著）国際医療福祉大学出版会、2003年、『病院経営のイノベーション』（共著）建帛社、2013年、『非営利組織と営利組織のマネジメント』（共著）中央経済社、2020年、『病院会計ー財務会計と管理会計』（単著）日本医療企画、2020年。</p> <p>【主な論文】「介護保険導入による自治体の老人保健財政および一般会計への影響ー栃木県大田原市での実態調査から（上）（下）」（共著；筆頭著者）『社会保険旬報』、No.2196、No.2197、社会保険研究所、2004年。</p> <p>「医療安全管理と病院予算」（単著）『會計』森山書店、第121号、2011年。</p> <p>【主な訳書】『脱予算経営』（共訳）生産性出版、2005年、『福祉の経済学』（共訳）光生館出版、2007年、『バランス・スコアカードの実践技法 現場を生かすプロセスマネジメント』（共訳）生産性出版、2009年。</p>	

ゼミナール概要

【キーワード】 会計、税務（国際税務含む）、医療管理

【目的、内容、方法等】

当ゼミでは、医療分野を中心とした経営組織（特に、病院）のマネジメントが直面する様々な問題を取り上げ、これらの問題を解決していくうえで、会計というツールが如何に役立ちうるのかについて主に学習します。それとともに、特に医療機関等のマネジメントに財務的インパクトを与える税務についても理解するため、わが国の主要な税目である法人税、所得税、相続税、消費税（いわゆる国税4法）や国際税務の問題についても併せて学習していきます。そのためには、最初はごく基本的な会計の仕組みから復習を始め、体系的な専門知識の習得を図るとともに（なお、ゼミでは理論、ケースを中心に取り扱うため、基本的な簿記会計の知識については事前に修得しておく必要がある。）、特に現在の医療機関が抱えるマネジメント上の問題について具体的事例をもとに多角的に議論し相互に理解を深めていきます。

したがって、学習内容としては会計・税務がコアとなりますが、経営管理や経営戦略の領域まで関わってくる場合もあり、ゼミ生の関心によっては非営利組織のマネジメント全般に至るまで学習範囲を広げることが可能です。ゼミ生の要望を積極的に取り上げつつ、研究課題の設定を行っていきたくと思います。このため意欲のある、明るく前向きで積極的な学生の参加を期待します。また、ゼミ生に対しては、ゼミ内で様々なディスカッションを行うため、常にわが国をはじめとした世界のニュースに興味を持ち、新聞、インターネットなど通じて、政治・経済領域を中心にその情報を取り入れる努力をすることを求めたいと思います。そのためには、コミュニケーション・ツールとして、英語を中心とした外国語を習得することは大変有効といえます。

〔授業計画〕上記のメニューを前提にして、授業開始時に、ゼミ生の理解度等を勘案したうえで、ゼミ生と適宜相談しつつ、臨機応変に設定する予定。

なお、上記のゼミ活動の前提の知識となる、日商簿記2級レベルの学習（特に、原価計算についての学習）については、基本的にゼミ開始前に終えておくことが望ましいが、そこまで学習が進んでいない場合、少なくとも2年後期終了時には必ず当該学習が終えられているよう、所属ゼミ生は全員努力していただきたい（就職対策にも大変有効です）。そのための指示も併せて行っていく予定です。また、税務の学習を進めていくうえで、税法と関連のある民法や商法・会社法、財政学等の知識を併せて習得することも大変有効です。

【使用テキスト】 後日、皆さんの要望等を考慮して決めたいと思います。

担当教員からのメッセージ

ゼミのメンバーは、教員も含めてお互いに切磋琢磨し、一生付き合うことが出来る仲間となりうることから（ただの馴れ合いの関係であってははいけません。）、大学時代にゼミに参加することはとても価値のあることだと思います。勉強に遊びに何事も真剣に楽しく取り組める皆さんの参加をお待ちしております。